

日本海テレビジョン放送

活動名	アクション！みんなのミライ 出張アナウンサー読み聞かせ
実施期間	令和 7 年 8 月～令和 8 年 1 月
実施回数	会場 11 回

【事業実施の成果・課題】

実施校の募集は HP と CM で 7 月に始めましたが、多くの応募をいただき 2 か月ほどで募集を終了しました。リピーター校も多く、事業が地域の保育園・幼稚園・小学校に浸透し実施を待ち望まれていることを実感しました。

この読み聞かせ事業はアナウンサー・事業担当者ともに視聴者と直接接することが出来る貴重な機会となっています。どうすれば子どもたちが退屈せず、興味を引く授業が出来るかを考えて準備し、実際に子どもたちの反応を見ながら授業を行うことは、アナウンサー、事業担当者の成長にもつながっていると感じています。来年度以降も試行錯誤を繰り返しながら授業内容をブラッシュアップし、多くの学校でこの読み聞かせ事業を実施していきたいと考えています。

課題としては、実施校の応募を先着順としているため、過去に事業を実施したことがある保育園・幼稚園・小学校による応募で実施枠が埋まってしまうことです。新規実施校にも本事業を知っていただく、上手に受け入れを調整する、ということが課題だと感じます。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

＜読み手：日本海テレビ報道制作部 小林沙貴アナウンサー＞

年代に合わせて、反応を伺いながら読み方を変えて挑戦する 1 年でした。物語の世界を伝えると同時に、声を出して文を読む面白さも伝えられたらと思い、読み聞かせの合間に簡単なレクチャーも取り入れています。私がアナウンサーになるきっかけが地元アナウンサーによる朗読会だったので、今度は自分がそういった存在になれるよう、引き続き色々な場所での読み聞かせに取り組みたいです。

＜読み手：日本海テレビ報道制作部 岩本泰平アナウンサー＞

絵本の物語、セリフの一言ひとことに喜怒哀楽たっぷりに反応してくれる園児たち。私自身、読み聞かせに関わるのは 6 年目ですが、いつも元気をもらいます。また、プロの発声方法や声の表現方法を紹介すると、笑顔と元気いっぱい学ぼうとしてくれる園児の皆さんがとても可愛くて、やりがいも強く感じます。テレビでは味わえない目の前から返ってくる素直なリアクションに触れられるのもアナウンサーにとっては大きな喜びです。アナウンサーの仕事の幅と、地域の視聴者の皆様との交流の大切さを、改めて実感する時間となりました。

<事業担当者：日本海テレビ経営企画部 澤田亜紀>

アナウンサーの読み聞かせに、にこにこしたり、大きな声で笑ったり、とても可愛い反応を見せてくれる子どもたち。また、子どもたちだけでなく先生方にもとても喜んでいただけていることを現場で実感します。アナウンサーの読み聞かせは地域の皆様を楽しくさせる力があります。この事業の魅力を多くの方に感じていただけるよう来年度以降も積極的に実施していきたいと思っています。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

<子どもたちの感想>

- ・アナウンサーは登場人物になりきってハキハキと読んでいたので、自分もマネをして読みたいです。
- ・自宅で音読する時に親から「ゆっくり読んで」と言われるので、アナウンサーはこうやって読むのか、と勉強になりました。
- ・読書が好きなので、プロの読み聞かせを聞くことができとても嬉しかったです。
- ・アナウンサーは読み聞かせも含め、たくさん仕事をしていることに驚きました。将来の夢を叶えるために今自分にできることに取り組みたいです。

<教諭・保育士の感想>

- ・子どもたちがプロの読み聞かせに触れ、絵本の素晴らしさを味わうことができました。
- ・アナウンサーにお話いただいたことをきっかけに、子どもたちに夢や希望を持ってもらいたいです。
- ・話す間や音量など、アナウンサーの読み聞かせ技術は、保育士の私たちにもとても勉強になっています。
- ・プロのアナウンサーの聞きやすく、心に届くような話し方、アナウンサーや放送局の仕事について大変分かりやすく教えていただきました。子どもたちにとってかけがえのない時間となっています。子どもたちは普段テレビごしに見るアナウンサーを間近で見ただけでなく、プロの発音を生で聞くことができ感動していました。